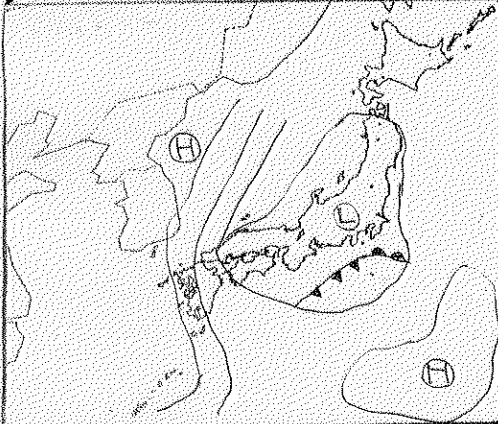


ブルーサーマル 編集局  
新格納庫3F、整備研修室  
暴露 爆笑 不随時募集中!

# BLUE THERMAL 2008 No.2

担当:  
法政大学2年 森永高広  
青山学院大学 原陽介  
立命館大学2回 上町聡



## これぞ妻沼

大荒れた。昨日から一転、妻沼の空も競技開始を祝福するかのように晴れ渡った。一時は土手土から見える範囲に5つもの機影が確認でき、休日に集まったたくさんのプレーヤーを乗せた。初日に山さかしく周囲者も続出、1ヶ所トモにフライトの様子を聞いた。早稲田A、西野選手「青屋根上空で最初のサマルヒト。高度400から900mまで上昇。キープ、ハイするよ乗って☆」また、「1回目のフライトで900mまで上がったので、このフライトで降りたらマジでボウズだ」と冷や冷やしていた。1stサマルヒトと切り切った時点で髪が生き残ることを信じた」と語る。東海6、小寺選手「1stサマルヒトで450mから950mまで上昇。プラス2でこのフライト最高だった。上空では行く、みんな周回してきたため地上でいろいろしていたので、その中でも7回目のフライトで周回してくる1番手」の選手が特に気に入るようだ。名大D.S. 中村選手「今日のバスターマルヒトは三洋上空、430m、350mでヒート、900mで7ライクした。」そんな中村選手の気に入る相手は、赤い鼻先のWhisky Whiskyだそうだ。斎藤選手「慶應A」1stサマルヒトは赤屋根上空、340mから800mまで上昇した。気に入るお相手はウィングレットの無いX-ray Tangoだそうだ。そのお相手は法政A、柳澤選手である。今日のバスターマルヒトはサトリー上空、405mだった。700m弱でヒート、800m弱で7ライクと強いサマルヒトに恵まれたが、赤屋根から三洋に向かう上空で200mロスなど、マフスも大きく焦ったそうだ。日3の練習で役立ったのは、「コアの小さいプラスで上がる方法」だそうである。

### 明日の天気

前線を伴った低気圧が通過しますから、発航には支障はありません。風は、低気圧が抜けることにより、冬型の西高東低の気圧配置になり風が午後から強くなるでしょう。



←事務所の小窓から身をのり出し、カメラを覗く浅岡さん。某週刊誌70ページのカメラマンも顔負けのフォトリスト、3P! である。

毎年の「方向舵」担当の浅岡綾子記者です♪

「みんなの盗撮に付きあってくれてありがとう♪ この暴露写真は事務局専用パソコンに入れておくので、欲しい方はUSB持ってきて遊びに来てね♡」と仰っていました。気になる人は事務局へG@!! へ!



西部支部事務局の清原鷗外さんです。関門海峡を渡って久住へおいで☆「うまいもん食べさせてやるよ」(原)

### 本日の結果

個人	団体
1. 西野 純貴 選手 早稲田A. 1000点	1. 慶應 A 1,123点
2. 小寺 俊之 選手 東海6. 949点	2. 早稲田A 1,000点
3. 中村 友洋 選手 名大 Discus 921点	3. 東海 6 949点
4. 斎藤 範祐 選手 慶應 A. 868点	4. 名大 Discus 921点
5. 柳澤 知則 選手, 法政 Dis. 826点	5. 早稲田 B 815点